

参加申込規定

参加定員

150名(申込先着順)

※定員になり次第、締め切らせていただきます

参加料

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 会員 **8,800円/1名**

一般社団法人日本物流資格士会 会員 (●加料8,000円+消費税800円)

上記会員外 **13,200円/1名**

(●加料12,000円+消費税1,200円)

お申し込み方法

●WEBまたはFAXにて受け付けています。
【WEBの場合】
当協会ホームページの本プログラムのページよりお申し込みください。

<https://www1.logistics.or.jp> または「JILS」で検索
トップ → 講演会・大会 → 大会

【FAXの場合】
下記申込書の必要事項をご記入の上、FAXにて事務局までお申込ください。
※開催間近のお申込みについては事務局へお問い合わせください。

ご注意

- 請求書は原則として合計金額を参加申込書の上段(参加者1)の方にお送りいたします。その以外をご希望の方は、通信欄にご指示ください。
 - 参加料は指定の銀行口座(請求書に記載)に開催前日までにお振込み願います。
 - 振込手数料は、お客様にて負担願います。
 - 参加予定の方の都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。なお、代理の方の出席も不可能な場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。
- <キャンセル規定>
開催7日前～前々日(開催初日を含まず起算)……参加料の30%
開催前日及び当日……参加料の全額
(注)キャンセルはFAXでのご連絡のみ申し受けます。

会場のご案内

- 名古屋銀行協会 5階ホール
〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-4-2
TEL:052-231-7851 FAX:052-232-0563
名古屋営地下鉄桜通線「丸の内」下車4番出口より徒歩10分
鶴舞線「丸の内」下車1番出口より徒歩8分
名城線「市役所」下車4番出口より徒歩10分

参加申込/お問い合わせ先

- 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 中部支部
TEL:052-588-3011 FAX:052-588-3012
〒450-0003 名古屋市中村区名駅南4-12-17



中部物流 改善事例発表会 2019 ～開催のご案内～

- 開催日時
2019年11月26日(火) 13:30～17:00
- 開催場所
名古屋銀行協会 5階ホール(名古屋市中区丸の内2丁目4-2)

- ◆中部物流改善事例発表会とは
 - ・物流現場におけるさまざまな問題を改善するためのノウハウやヒントを共有する場
 - ・物流現場改善に関する取り組み事例を相互に発表する情報交流の場
- ◆今回の発表事例のテーマ
共用化による梱包材の削減、職場環境整備によるダイバーシティの推進、製造工程を含めた業務領域拡大による生産性改善、ドライバー不足に対応するための輸配送効率化、業務改善による省人化、倉庫内作業の効率化と作業負荷の低減 など

●事例発表企業 (会社名五十音順)

1 アイロップ(株)	4 高末(株)
2 アドバンスト・ロジスティクス・ソリューションズ(株)	5 東陽倉庫(株)
3 (株)グリーンサービス(中北薬品グループ)	6 日本トランスシティ(株)

【記念講演】
2019年度物流合理化努力賞受賞 **ブリヂストン物流(株)**

主催:公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 中部支部
一般社団法人日本物流資格士会 中日本委員会

中部物流改善事例発表会2019 参加申込書

フリガナ 会社名			<input type="checkbox"/> 日本ロジスティクスシステム協会会員
事業所名			<input type="checkbox"/> 日本物流資格士会会員
			<input type="checkbox"/> 上記会員外 (該当欄の□にレ点)
参加者1	フリガナ	勤務先住所	
	氏名	〒 -	
	所属・役職名	TEL: () FAX: ()	
	メールアドレス:	(@)	
参加者2	フリガナ	勤務先住所	
	氏名	〒 -	
	所属・役職名	TEL: () FAX: ()	
	メールアドレス:	(@)	
参加料合計	名 円	<通信欄>	[LA1933]

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では個人情報の保護に努めております。詳細は当協会のプライバシーポリシー (<http://www.logistics.or.jp/privacy.html>) をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本発表会に関する確認・連絡・参加者名簿の作成および当協会主催ならびに関連催し物のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

参加申込 FAX **052-588-3012** 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 中部支部

中部物流改善事例発表会 2019 プログラム

13:30-13:35	【開会挨拶】	加藤 博巳	中部物流改善事例発表会 2019 実行委員会 委員長 高末(株) 代表取締役社長
-------------	--------	-------	---

13:35-16:00 【 物流改善事例の発表 】 (全6事例)

① 13:35 -	出荷頻度・傾向に合わせた間口設定と ロケーション見直しで作業者の負荷を 減らして効率改善 (株)グリーンサービス(中北薬品グループ) 竹生 繁 氏 豊川物流センター センター長 発表企業業種:物流子会社 取扱品:医薬品	ピッキングエリアでの作業のうち、特に商品補充作業が頻繁に発生していた。そこで、商品ごとの出荷頻度と出荷数量を分析し、出荷棚と補充棚間の往復で生じるムダな歩行作業を無くした。また、歩行作業による身体的負荷を軽減するため、出荷頻度の高い商品をピッキングスタート位置に近い出荷棚に集約した。
-----------------	--	--

② 13:55 -	ひとりひとりの障がい者と向き合う職場づくり ～障がい者が生き生きするために、 私たちはなにができるか～ アドバンス・ロジスティクス・ソリューションズ(株) 中谷 麻里江 氏 総務部 総務室 人事総務G 発表企業業種:物流事業者 取扱品:医薬品、機械部品等	ダイバーシティに積極的に取り組むなか、特に社会的な要請として重要かつ必要な「障がい者雇用の拡大」を目指した。本事例は当社方針である「障がい者が出来る仕事を与えるのではなく、やってほしい仕事を出来るようにする」を目的として、「工程の見直し」および「障がい者の能力及び障がい程度に合わせて行った改善事例」である。
-----------------	--	--

③ 14:15 -	製造工程への事業領域拡大による 流通経路の短縮および生産性の改善 高末(株) 稲見 達哉 氏 加福流通加工センター 所長 発表企業業種:物流事業者 取扱品:住宅設備機器	部品メーカーの物流において、仕入先から販売先(完成品メーカー)までの流通経路は、様々な加工委託先への横持ち等が発生し複雑であった。そこで当社が、物流は当然に、組立・検査・同梱作業等に事業領域を広げ、ワンストップサービスを提供することで、流通経路の短縮を実現。また、製造工程においては、製造業の管理手法を学び、生産性向上を実現した。
-----------------	---	---

14:35-15:00	事例①～③ の講評	中野 昭男	中部物流改善事例発表会 2019 実行委員会 副委員長 のぞみ経営研究所 代表 (日本物流資格士会 中日本委員会 委員長)
【 発表者記念品贈呈 および 休憩 】			

④ 15:00 -	紙幣搬送機の共用化梱包 アイロップ(株) 澤田 千奈美 氏 包装技術部 発表企業業種:包装サービス 取扱品:精密機器	長さが21種、駆動部形状が4種、連結部形状が3種あり、組合せパターンで124種となる精密機器(紙幣搬送機)の梱包に際し、従来はそれぞれの製品形状に合わせた仕切りで梱包していた。そのため、梱包材の種類が多くなり、管理も煩雑となっていた。そこで梱包材の共用化により、梱包材の種類を削減し、梱包の合理化に取り組んだ。
-----------------	---	---

※都合により発表者、テーマが変更になる場合がございます。

⑤ 15:20 -	コンテナドレーの増便を 目的とした効率化 東陽倉庫(株) 三橋 夏樹 氏 国際営業本部 営業企画G 課長 (第131期物流技術管理士) 発表企業業種:物流事業者 取扱品:輸出入品	ドライバー不足による輸送能力およびサービスレベルの低下を防ぐため、従来の方法を見直し、コンテナドレーの増便に取り組んだ事例。顧客と連携し、コンテナデポの新規設置と運用の改善を行い、効率化を進めることで、ドライバー不足という物流危機の環境下においても、サービスレベルの維持、向上に努めた。
-----------------	---	---

⑥ 15:40 -	コストを掛けずに省人化への挑戦 ～労働力不足に立ち向かえ!!～ 日本トランスシティ(株) 鴻池 真 氏 貨物流通KNDCグループ チームリーダー 発表企業業種:物流事業者 取扱品:日用雑貨	労働力不足のおり、定年退職による作業員の減員に対し求職者はなく、業務の省人化が必須の状況となっていた。そこで、まず作業量や業務フロー、業務波動等の現状を分析した。その結果に基づき、作業導線や保管の見直し、業務波動の平準化等業務改善を実施し、作業時間を削減した。限られた人員での業務遂行のみならず安全面の向上や全員で改善に取り組む風土を構築できた。
-----------------	--	---

16:00-16:25	事例④～⑥ の講評	中野 昭男	中部物流改善事例発表会 2019 実行委員会 副委員長 のぞみ経営研究所 代表 (日本物流資格士会 中日本委員会 委員長)
【 発表者記念品贈呈 および 休憩 】			

⑦ 16:25 -	【2019年度物流合理化努力賞受賞事例】 物流効率改善によるCS向上 ～路線便削減で物流品質の向上と コストダウンの実現～ プリチストン物流(株) 木村 大輔 氏 中日本支社 彦根第二事業所 発表企業業種:物流子会社 取扱品:タイヤ等	販売会社の営業活動支援策の一環として、製品の店舗直送化を進めてきたが、年々直送量が増加、路線便出荷が増えることにより、コストや配送トラブルも増加していた。路線便から貨切便への移行を進める中、トラックの長時間待機や間口の狭い店舗配送等の問題が発生したが、荷積時間の分散化や小型車の増車等により課題解決を進め、路線便出荷量を前年比-30%とすることに成功した。
	記念講演 16:45	

16:45-17:00	【閉会挨拶】 日本ロジスティクスシステム協会における改善の取組	橋爪 茂久	公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 専務理事
-------------	------------------------------------	-------	-------------------------------

◆ 中部物流改善事例発表会2019 実行委員会委員一覧 ◆ (2019年9月現在、敬称略)

委員長 加藤 博巳	高末(株) 代表取締役 社長	委員 古橋 正得	(株)豊田自動織機
副委員長 中野 昭男	のぞみ経営研究所 代表 (日本物流資格士会)	委員 棚橋 昭徳	トヨタL&Fカンパニー
委員 平野 光博	アトラスカーゴサービス(株) 執行役員 物流事業部 部長 (日本物流資格士会)	委員 檀 直正	物流エンジニアリング部 企画室 室長
委員 吉澤 英明	ココヨササプライロジスティクス(株) CSオペレーション部 中部DC 総括所長	委員 峰澤 彰宏	日本トランスシティ(株) 執行役員 経営企画部長
委員 金本 俊哉	佐川グローバルロジスティクス(株) 名古屋支店 支店長	委員 川北 俊信	(株)富士ロジテックホールディングス 執行役員
委員 伊藤 裕明	(株)ダイフク 中部支店 支店長		(株)MINEZAWA 代表取締役社長 (日本物流資格士会)
			名港海運(株) 業務部 部長